

令和7年7月2日奥州地区交流会報告

日時 令和7年7月2日（水）10時～12時

場所 奥州市水沢南地区センター

内容 報告・連絡・相談

- ① 活動状況報告（支部長）
- ② 今後の予定（支部長）
- ③ 近況報告と困りごと相談（全員）

参加 端坂、佐藤副支部長、奥州市保健所難病担当 太野保健師 訪問ステーション「さくら」
他12名

① 活動状況報告

② 今後の活動予定

支部長 端坂が9月までの難病連や保健所主催のパーキンソン病に関する集いを含む予定を説明した。

③ 参加者近況報告・困りごと

参加者 A

パーキンソン病と診断されて3年程です。朝食時に眠気が強く食べながら寝てしまう

端坂

処方はどうなっているのですか

参加者 A

夕食後（18：00頃）にドパコール100mg 20：00頃にハルロピテープ8mgを貼り就寝。起床時に動きが悪いので6：00頃にドパコール50mg服用し、7：00頃に朝食を食べている。この時に眠気が強くでる。

端坂

夜は眠れていますか。睡眠導入剤は服用していますか

参加者 A

睡眠導入剤は服用していない。夜中に時々目が覚めるが睡眠時間は足りていると思う。

端坂

薬の副作用で眠気や突発傾眠があるが、薬の量は多くないように思える。主治医に朝食を食べている時に寝てしまうことがあると伝えてみてはどうか

参加者 B

先日、胃カメラ検査をした際に医師からパーキンソン病のために胃のヘルニア（胃と食堂の筋力が弱い）と言われた。

端坂

パーキンソン病の消化器症状（胃食道逆流や嚥下障害）みられることがあるようである。誤嚥性肺炎を起こす可能性があるため、口腔ケアや嚥下機能改善のためnのリハビリ（昨年度、保健所主催のパーキンソン病の集いで県立病院の言語聴覚士が言語障害、嚥下障害の機

能訓練の講演をした。私は参加して資料をもっているのです、送付しますので参考にしてください

参加者 C

パーキンソン病と診断されて1年だが薬を飲んでも症状が改善されない

端坂

主治医に薬を飲んでも症状が改善されないことを具体的に伝える必要があると思う。

参加者 D

県立病院でパーキンソン病と診断されて8年。通院の関係もあり、自宅近くの個人開業医院の脳神経内科に通院している。薬を飲んでも両手、両足の震えがおさまらない時がほとんどである。カルコーパー100mgが朝、昼、晩の3回服用するようになっているが、服用しても震えが治まらないため、服用間隔を前倒し（服用間隔が短くなる）することで処方量を超えて薬を飲んでしまうため、鍵の掛けられる容器で薬を管理されている。

端坂

Lドバ製剤は前倒しで服用したり、処方量を超えて服用してしまうと自分では服用間隔や量を元に戻せなくなる。盛岡地区の会員の方もそうであった。そのために鍵をかけて管理していると思うが、そもそも、薬を服用しても震えが治まらないということは薬の量や種類があっていないのではないか。主治医に症状を詳しく伝える必要があると思う。口頭で伝えるのは難しいと思うので、メモを書いて主治医にみてもらったらどうか

端坂

パーキンソン病は一人一人症状が違います。自分の症状にあった治療を受けるためには自分の症状を主治医にしっかり伝えることが重要です。自分の症状を口頭で説明することは難しいことだと思います。主治医が自分が伝えたと思っていることと違った意味に受け止めている可能性もあると思います。処方された薬を飲んでも効果が感じられない場合はその都度主治医に伝える必要があると思います。

パーキンソン病に似た症状がでるパーキンソン病症候群があります。Lドバが効かない病気もありますので、不安に思ったら大学病院などで確定診断してもらうことを考えることも必要だと思います。

次回予定

日時：2025年9月3日（水）10：00～12：00

場所：奥州市水沢南地区センター